

## 市民生活実感調査（インターネットモニター調査）の結果について

### 1 調査概要

#### (1) 調査対象

20歳以上の市民（民間企業の登録モニター）970人

※ 令和5年4月1日時点の「京都市住民基本台帳人口」における人口構成比（性別・年齢・行政区）に基づき調査

※ 回答数は1,000人を予定していたが、一部の区分で有効回答数が割付数に達しなかったため、最終的な回答数は970人

※ 以下に当てはまる場合、不正モニターとして排除

①すべての設問が無回答（13件）

②すべての設問で同一のアルファベットを選択（該当なし）

（参考）回答数及び「京都市住民基本台帳人口」の人口構成比に基づく割付数

	男性			女性		
	回答数 (A)	割付数 (B)	乖離 (A-B)	回答数 (A)	割付数 (B)	乖離 (A-B)
20歳代	59	68	▲9	68	68	±0
30歳代	64	64	±0	64	64	±0
40歳代	78	78	±0	84	84	±0
50歳代	80	80	±0	90	90	±0
60歳代	62	62	±0	72	72	±0
70歳代以上	110	110	±0	139	160	▲21
合計	453	462	▲9	517	538	▲21

※ 割付数は、行政区ごとに、性別・年齢層別の人口構成比に基づき算出しているため、市全体の人口構成比と割付数との間では若干の乖離が生じている

#### (2) 調査内容（従来の郵送調査と同じ）

##### ア 生活実感

「京プラン2025」に掲げた「みんなでめざす2025年の姿」に対して、今の市民生活がどうなっているかをお尋ねするため、118の設問について市民の実感を、次の5段階で回答

a: そう思う      b: ややそう思う      c: どちらとも言えない  
d: あまりそう思わない      e: そう思わない

※ 設問数が多いため、2組（調査A・B）に分けて実施

##### イ 政策の重要度

27政策のそれぞれについて、市民が考える重要度を5段階で回答

ウ 市政への関心度  
市政への関心度合いを5段階で回答

エ 幸福実感  
幸福の実感度合いを5段階で回答

(3) 調査期間

令和5年5月12日～5月19日（8日間）

(4) 調査方法



(5) 調査委託会社

株式会社クロスマーケティング

2 生活実感

b評価（ややそう思う）及びd評価（あまりそう思わない）が減少し、c評価（どちらとも言えない）が増加した。

各選択肢の回答率は、肯定的な回答が減少し、否定的な回答が増加した。

a そう思う	b ややそう思う	c どちらとも言えない	d あまりそう思わない	e そう思わない	計
0	22	92	4	0	118

(参考1) 令和4年度調査結果

a そう思う	b ややそう思う	c どちらとも言えない	d あまりそう思わない	e そう思わない	計
0	27	86	5	0	118

(参考2) 各選択肢の回答率

選択肢		R5	R4	増減 (R5-R4)
肯定的な回答	そう思う	5.4%	5.7%	▲0.3pt
	ややそう思う	26.5%	27.9%	▲1.4pt
どちらともいえない		<b>43.6%</b>	<b>44.0%</b>	<b>▲0.4pt</b>
否定的な回答	あまりそう思わない	18.2%	16.3%	+1.9pt
	そう思わない	6.3%	6.2%	+0.1pt

○ 生活実感評価の高い政策分野順位について

27分野のうち22の分野で変動が生じているものの、最も変動の大きい分野（「文化」）でも4ランクの変動に留まり、それほど変動幅は大きくない。

ア 3ランク以上上昇した分野

分野	順位		
	R 5	R 4	変動
文化	10	13	+3
危機管理・防災・減災	21	24	+3

イ 3ランク以上低下した分野

分野	順位		
	R 5	R 4	変動
住宅	15	11	▲4
健康長寿	19	16	▲3
歩くまち	8	5	▲3

(参考) 令和4年度調査における生活実感評価の高い政策分野順位の変動

令和4年度調査では、令和3年度調査から、27分野のうち19分野で順位の変動が生じている。

3ランク以上上昇したもの		3ランク以上低下したもの	
分野	変動	分野	変動
文化	+8	市民生活とコミュニティ	▲5
観光	+5	消防・救急	▲5
大学	+4	子ども・若者支援	▲4
住宅	+3	建築物	▲3

### 3 政策の重要度

「重要」又は「やや重要」と回答された方の割合が高い政策について、順位に変動はあったものの、5位以内の顔ぶれは変わらなかった。

R 5		R 4	
順位	政策分野	順位	政策分野
1	くらしの水	1	くらしの水
2	市民生活の安全	2	市民生活の安全
3	保健衛生・医療	3	保健衛生・医療
4	消防・救急	4	消防・救急
5	危機管理・防災・減災	5	環境
			危機管理・防災・減災

(参考) 行政区別の回答状況(詳細は、下表及び資料7別紙を参照)

- ・ 全市で13位であった「住宅」が、東山区で1位となり、全市で10位であった「学校教育」が、中京区では4位となっている。
- ・ 全市で7位であった「道と公園・緑」が、6つの行政区(北・上京・中京・東山・下京・西京)で上位5位以内に入っている。
- ・ 政策分野ごとに、各行政区の回答のばらつき(標準偏差)を求めたところ、「健康長寿」、「住宅」、「農林業」、「大学」、「市民生活とコミュニティ」でばらつきが大きい一方で、「観光」、「産業・商業」、「生涯学習」、「市民生活の安全」、「景観」でばらつきが小さい。

※ 構成比の分母となる回答者数が少ないため、結果の利用には注意を要する。

	回答者数	順位				
		1	2	3	4	5
全市	970	くらしの水(79.3%)	市民生活の安全 (78.0%)	保健衛生・医(76.1%)	消防・救急(75.5%)	危機管理・防災・減災 (75.1%)
北区	77	くらしの水(88.3%)	環境/道と公園・緑/消防・救急(84.4%)			市民生活の安全 (83.1%)
上京区	56	消防・救急/くらしの水(83.9%)		市民生活の安全(82.1)	保健衛生・医療 (80.4%)	環境/道と公園・緑 (75.0%)
左京区	102	市民生活の安全 (85.3%)	保健衛生・医療 (80.4%)	くらしの水(79.4%)	環境/危機管理・防災・減災/消防・救急 (78.4%)	
中京区	82	くらしの水(79.0%)	消防・救急(76.5%)	市民生活の安全 (75.6%)	学校教育(73.2%)	道と公園・緑(71.6%)
東山区	24	保健衛生・医療/住宅/消防・救急(83.3%)			環境/市民生活の安全/危機管理・防災・減災 /道と公園・緑/くらしの水(79.2%)	

	回答者数	順位				
		1	2	3	4	5
山科区	95	保健衛生・医療 (77.9%)	市民生活の安全 (77.7%)	くらしの水(76.8%)	消防・救急(75.8%)	危機管理・防災・減災 (74.7%)
下京区	51	くらしの水(82.4%)	環境(78.4%)	市民生活の安全 (76.5%)	道と公園・緑(72.5%)	消防・救急(70.6%)
南区	71	くらしの水(80.0%)	市民生活の安全 (78.9%)	危機管理・防災・減災／消防・救急(76.1%)		保健衛生・医療 (74.6%)
右京区	131	市民生活の安全／危機管理・防災・減災 (77.1%)		保健衛生・医療 (76.3%)	くらしの水(74.8%)	環境(74.0%)
西京区	97	市民生活の安全 (78.4%)	くらしの水(77.3%)	保健衛生・医療 (75.3%)	環境(72.2%)	道と公園・緑(71.1%)
伏見区	184	くらしの水(78.8%)	危機管理・防災・減災 (76.1%)	保健衛生・医療 (73.9%)	消防・救急(73.8%)	環境／市民生活の安全 (72.3%)

#### 4 市政への関心度

「そう思う」または「ややそう思う」と回答された方の割合は、令和4年度から2.6%低下している。

選択肢	R 5	R 4	増減 (R5-R4)	R 3
そう思う (①)	17.2%	17.3%	▲0.1pt	27.0%
ややそう思う (②)	36.0%	38.5%	▲2.5pt	34.1%
<b>小計 (①+②)</b>	<b>53.2%</b>	<b>55.8%</b>	<b>▲2.6pt</b>	<b>61.1%</b>
どちらとも言えない (③)	21.4%	20.5%	+0.9pt	23.1%
あまりそう思わない (④)	15.9%	16.5%	▲0.6pt	10.1%
そう思わない (⑤)	9.4%	7.1%	+2.3pt	4.1%
小計 (④+⑤)	25.3%	23.6%	+1.7pt	14.2%
無回答	0.1%	0%	+0.1pt	1.6%

(参考) 過年度の回答状況

選択肢	R1	H30	H29	H28	H27
関心がある (①)	32.9%	29.1%	31.1%	32.9%	35.0%
少しは関心がある (②)	47.1%	47.6%	50.6%	48.5%	44.8%
<b>小計 (①+②)</b>	<b>80.0%</b>	<b>76.7%</b>	<b>81.7%</b>	<b>81.4%</b>	<b>79.8%</b>
あまり関心がない (③)	11.0%	13.1%	11.1%	11.5%	8.9%
まったく関心がない (④)	1.2%	1.7%	1.1%	1.3%	0.9%
小計 (③+④)	12.2%	14.8%	12.2%	12.8%	9.8%
わからない	3.9%	4.0%	4.3%	3.2%	2.6%
無回答	3.9%	4.5%	1.8%	2.6%	7.8%

※令和3年度調査以降、選択肢を変更した。

※令和4年度調査以降、調査方法を従来の住民票無作為抽出による郵送調査からインターネットモニター調査に変更した。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、調査を実施していない。

## 5 幸福実感

「そう思う」または「ややそう思う」と回答された方の割合は、令和4年度から1.7%低下している。

	R 5	R 4	増減 (R5-R4)	R 3
そう思う (①)	16.1%	18.0%	▲1.9pt	28.8%
ややそう思う (②)	39.2%	39.0%	+0.2pt	39.1%
<b>小計 (①+②)</b>	<b>55.3%</b>	<b>57.0%</b>	<b>▲1.7pt</b>	<b>67.9%</b>
どちらとも言えない	25.6%	24.0%	+1.6pt	18.0%
あまりそう思わない (③)	10.5%	12.3%	▲1.8pt	8.3%
そう思わない (④)	8.5%	6.5%	+2.0pt	4.1%
小計 (③+④)	19.0%	18.8%	+0.2pt	12.4%
無回答	0.1%	0.1%	±0.0pt	1.7%

(参考) 過年度の回答状況

	R1	H30	H29	H28	H27
とても幸せだと思う (①)	15.9%	16.9%	17.9%	16.2%	19.6%
どちらかという幸せだと思う (②)	58.0%	57.7%	58.5%	60.9%	54.4%
<b>小計 (①+②)</b>	<b>73.9%</b>	<b>74.6%</b>	<b>76.4%</b>	<b>77.1%</b>	<b>74.0%</b>
どちらとも言えない	15.1%	16.6%	16.1%	16.4%	14.9%
どちらかという幸せではないと思う (③)	5.4%	4.4%	5.1%	3.7%	4.8%
不幸せだと思う (④)	1.2%	0.9%	0.7%	0.9%	1.2%
小計 (③+④)	6.6%	5.3%	5.8%	4.6%	6.0%
無回答	4.4%	3.5%	1.7%	1.9%	5.2%

※令和3年度調査以降、選択肢を変更した。

※令和4年度調査以降、調査方法を従来の住民票無作為抽出による郵送調査からインターネットモニター調査に変更した。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、調査を実施していない。

## 6 自由記述

回答数は656件、回答率は67.6%となり、令和4年度と同程度の結果となった

	R 5	R 4	増減 (R5-R4)
回答数	656	650	+6
回答率	67.6%	69.1%	▲1.5pt

(参考) 主な意見

自由記述意見	件数
観光に関する意見	105件
京都市財政に関する意見	75件
税に関する意見	73件
子育てに関する意見	52件
市バス・地下鉄に関する意見	51件
道路に関する意見	26件
寺社に関する意見	24件